

国土地理院 入札監視委員会定例会議 議事概要

開催日及び場所	令和7年7月15日(火) 国土地理院関東地方測量部会議室		
委員名簿(4名)	委員長 谷本 誠司(弁護士) 委員長代理 新谷 昌人(東京大学 地震研究所附属観測開発研究センター教授) 委員 長田 実(公認会計士) 委員 山本佳世子(電気通信大学 大学院情報理工学研究科教授)		
審議対象期間	令和6年4月1日~令和7年3月31日		
抽出事案	総件数 8件	(備考) 審議案件は別紙1のとおり	
測量業務	4件		
内 訳	簡易公募型競争入札方式		1件
	簡易公募型競争入札方式(総合評価落札方式)		2件
	随意契約方式		1件
物品・役務	4件		
内 訳	一般競争入札方式		3件
	企画競争入札方式	1件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答	
	別紙2のとおり	別紙2のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし		

審議案件詳細

【測量業務】

	入札方式	測量業務名	業務種別	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備考
①	簡易公募型競争入札方式	成果不整合地域における基準点改測（兵庫県稲美地区）	基準点測量	3	3	令和6年11月1日	西谷技術コンサルタント株式会社	1,309	44.24%	

	入札方式	測量業務名	業務種別	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備考
②	簡易公募型競争入札方式 (総合評価落札方式)	航空レーザ測量及び三次元点群データ等整備（知床1地区）	写真測量	5	4	令和6年5月24日	朝日航洋株式会社	66,275	82.26%	変更契約

	入札方式	測量業務名	業務種別	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備考
③	簡易公募型競争入札方式 (総合評価落札方式)	令和6年度地形分類データ及び脆弱地形データ整備（九州南部・関東地区）	地理調査	1	1	令和6年5月16日	国土・地域開発共同企業体	38,500	88.16%	変更契約

	入札方式	業務名	業務種別	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備考
④	随意契約方式	令和6年度の能登半島地震における基準点改測（三角点復旧測量）（能登半島B地区）	基準点測量	令和6年7月30日	日豊・アースプランニング共同企業体	14,784	99.93%	変更契約

【役務の提供等及び物品の製造等】

	入札方式	業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備考
⑤	一般競争入札方式	地理空間情報ライブラリーのDX（測量成果保管装置の導入）	役務の提供等	2	2	令和6年7月12日	エイチ・シー・ネットワークス株式会社	151,118	49.96%	

	入札方式	業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備考
⑥	一般競争入札方式	地理空間情報の技術振興にかかる調査検討業務	役務の提供等	1	1	令和7年1月23日	公益社団法人日本測量調査技術協会	3,982	96.71%	

	入札方式	業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備考
⑦	一般競争入札方式	令和6年度GNSS連続観測システムの改造（機器更新）	物品の製造等	2	2	令和6年6月14日	株式会社ニコン・トリンプル	43,329	29.83%	

	入札方式	業務名	業務分類	企画提案書の提出者数	企画競争参加資格を満たす企画提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備考
⑧	企画競争入札方式	バクトルタイルを活用した災害情報装置の開発業務	役務の提供等	1	1	令和6年5月31日	日本アイ・ビー・エム株式会社	109,740	99.98%	

別紙2

意見・質問	回 答
<p>1. 定例報告</p> <p>(1) 令和6年度発注物件</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特になし <p>(2) 指名停止等の運用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特になし <p>(3) その他</p> <p>①設計変更に伴う契約変更</p> <p>②一者応札契約の状況</p> <p>③一者応札が続いている契約案件の適正な契約方式への移行</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一者応札が続いている契約案件の適正な契約方式への移行については、参加者の有無を確認する公募手続を行ったということだが、その状況はどうなったか。 ● 一者応札の案件については、入札に参加しなかった者等からヒアリングを行っていると思うが、その結果を受けて発注方式などの工夫はしたのか。 ● 全体の一者応札契約のパーセンテージが上がっているが何か傾向はあるのか。また、プログラムの保守などは参入しやすいよう何か改善策はとっているのか。 ● 現状が変わらない状況が続くようであれば、もう少し改善する余地があると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公募にて参加者を募ったが、参加する者は見つからなかった。 ● 一者応札のヒアリングについては、一定のルールを設け、実施しているが、まだ一年弱しか経っていないため、対策は今後の検討となる。 ● 傾向として、特殊な機器の購入やプログラムの保守は高い確率で一者応札が続いていることが、過去の傾向から見て取れる。また、プログラムの保守については公開できるものは閲覧できるようにしており、興味を持つ者は増えてはいるが、内容を見て手を下ろしてしまうことが続いていると考えられる。 ● 今後も検討していく。

意見・質問	回 答
<p>2. 抽出事案の審議 <測量業務> 簡易公募型競争入札方式 ① 成果不整合地域における基準点改測 (兵庫県稲美地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本案件は低入札価格調査に該当しないとのことであるが、落札率が低いことの確認方法として、ヒアリングを実施することもあり得ると思う。状況を把握するという点では有効だと思いで、検討されたい。 ● 低い落札率でも、この落札業者が適正に業務を履行していたかが重要である。納品後に事後的評価などは行っているのか。 ● この測量業務のコストの積み上げで一番大きいのは人件費という理解で良いか。また、落札業者にこの作業は何人の作業員を使ったとかの報告を求めることは可能か。 ● 落札した業者が、本入札に参加した他の2者と比較して、かなり低い金額で入札しているが、理由等は把握しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係部署と調整していく。 ● 当該測量業務の成績評定として監督員が事後的評価を実施している。 ● 測量業務の積み上げでは基本的に人件費の占める割合が大きくなる。また、個別の案件毎ではないが、実態を把握するための調査等を適宜実施している。 ● 同種業務の実績を作りたいた等の理由があったのではないかとと思われる。
<p>簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式） ②航空レーザ測量及び三次元点群データ等整備（知床1地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 業者側からみれば人員の確保など様々な制約をクリアしなければ入札に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ● 発注予定情報は、ホームページ上で事前公表するほか、測量業務では電子入札システムにより、案件が登録された

意見・質問	回 答
<p>できないと思うが、発注スケジュールはどの時点で業者が知り得るのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 総合評価落札方式では価格点より技術点のウェイトが高いように思う。そのため予定価格の設定を少し柔軟に考えられると良いと思う。 ● 入札価格が無効の者がいるが、これはどのような理由か。 	<p>時点で登録業者に情報が行く仕組みになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 予定価格を柔軟に設定することは今の基準では難しい。 ● 調査基準価格未満での入札となった際に必要な履行確実性度の確認のための追加資料が提出されなかったため無効となった。
<p>簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式） ③令和6年度地形分類データ及び脆弱地形データ整備（九州南部・関東地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この案件は地形分類データの整備と脆弱地形データの整備の作業内容が2つ含まれているため、他の案件に比べて専門性が高く、この分野の技術者の配置が難しいなど、他者参入の余地が難しいように思える。他の者が参入できるような方法を検討されたい。 ● 受注業者の技術点評価は60点中半分を少し下回っているが、優良業務表彰等を受けている。技術力と優良業務表彰は直接関係しないということか。 ● 1者優良な者があっても、1者入札という状況は好ましくない。競争環境を整える上で、業務チャレンジ型などでの発注を検討し、効率的な調達を心がけていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地形分類データの整備と脆弱地形データの整備の作業内容に大きな違いはないが、用語や説明の仕方で敬遠された部分があるかもしれない。今後は、業務チャレンジ型や作業班長型での発注なども検討していきたい。 ● 当該物件では表彰実績がない技術者を作業班長に配置したことが技術点の評価に影響したものと思われる。 ● 承知した。

意見・質問	回 答
<p>随意契約方式</p> <p>④令和6年能登半島地震における基準点改測（三角点復旧測量）（能登半島B地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 災害対応ということで、通常の測量より業務が困難となることが想定されるが、予定価格は通常の測量と同じ基準で積算しているのか。 ● 災害対応ということで、緊急測量作業に関する協定に基づき5地区について業者を選定してもらったとのことであるが、地区の割り振りは国土地理院が決めたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 通常の測量と同じ基準で積算している。 ● 業者の希望や所在地等を勘案しながら当院が決めたものである。
<p><物品・役務></p> <p>一般競争入札方式</p> <p>⑤地理空間情報ライブラリーのDX（測量成果保管装置の導入）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大容量のストレージで数億円単位のものが低入札価格となったが、クォリティーや保証に問題はなかったのか。 ● 安価で納入されたが、業務自体に問題はないと考えて良いのか。 ● 5年保証とのことであるが、財務的に会社として5年後も問題ないとか、そのような観点のチェックはあるのか。また、5年保証というのは、普通にあるものなのか。 ● 予定価格の設定方法として、官報公告で仕様書案を配布し、質問に対する回 	<ul style="list-style-type: none"> ● 納入された機器は、システムを動かすために必要なクォリティーや保証に係る予め設定した要件を満たしている。 ● ストレージ自体に問題はなく、正常に稼働している。 ● 財務的なチェック項目はない。5年保証というのはシステム系では一般的である。 ● そのとおりと認識している。

意見・質問	回 答
<p>答も全て共有した上で、参考見積を徴収したということか。</p>	
<p>一般競争入札 ⑥地理空間情報の技術振興にかかる調査検討業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 初めての発注する内容の案件であることに加えて年度末であったことが、一者応札となった原因か。 ● 今後もこのような業務を続ける可能性が高いと思うが、年度の早い時期に発注するなど、色々な方法で参加要件を緩和していけば、民間会社等の参入も考えられると思うが。 	<ul style="list-style-type: none"> ● そのとおりと認識している。 ● 少しでも入札に参加する者が増えるよう検討してまいりたい。
<p>一般競争入札 ⑦令和6年度GNSS連続観測システムの改造（機器更新）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 物品購入のため低入札価格調査の対象外とのことであるが、件名が改造となっているので、役務が生じるのではないか。 ● このような特殊な機器の場合、一度納入すると、その後のメンテナンスで納入したところが有利になることがあると思うが、特定の業者しか扱えないような状況は考えられるか。 ● 受信機の保守はどうなっているのか。 ● 全く価格が分からないものは参考見積をベースにすると思うが、今回の案件 	<ul style="list-style-type: none"> ● 物品と役務が混在している場合は、比重によって、発注段階で参加資格を決めている。本件は物品の購入で発注したところである。 ● 受信機はそれぞれ特性があるが、仕様書の中では標準フォーマットで全て使えなければならないように記載してあるので、特定の業者しか扱えないということは絶対ないようになっている。 ● 保守契約は、別途年間契約で発注している。 ● 大口ユーザーでない者が購入する価格としては当初の参考見積で設定した金

意見・質問	回 答
<p>は国土地理院の中では珍しくない製品である。当初の見積と入札額の開きに関して違和感はなかったのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 物品購入のため低入札価格調査は実施しないルールとなっているようだが、一般国民としては不安なところもある。ヒアリングは低入札価格調査のルールに限らず自主的に実施しても良いと思うので、検討していただきたいと思う。 	<p>額は妥当なラインだと思う。低価格で入札してきたのは、何らかの経営判断があったのではないかと考えている。</p>
<p>企画競争入札方式 ⑧ベクトルタイルを活用した災害情報装置の開発業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この業務の性格上、設計図も機密保持の観点から簡単に公開できないということであれば、昨年度の場合であった設計業務と今回の開発業務も同じところが取ることになると思うが、そのあたりはどのように考えているのか。 ● 逆にシステムの設計、開発をセットで発注することはできなかったのか。 ● 冒頭の一者応札契約の状況の説明で、辞退や入札に参加しなかった理由として、プログラムについては閲覧に供する方法では難しいという意見は具体的に出了のか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● なるべく入札者を増やす仕組みという工夫は当然しなければいけないが、結果として、そうなっているのが現状である。 ● 単年度発注では期間的に難しい。 ● 昨年度の他のシステム関係でのヒアリングでは、仕様書の条件が合わなかった、技術力の中身が自分のところのシステムの中身と仕様書の中身が違っていたとか、そういった聞き取りはできているが、閲覧に対する意見は聞いていない。

意見・質問	回 答
<p>【全体を通して】</p> <ul style="list-style-type: none">● 全体を通して問題なしとさせていただく。	